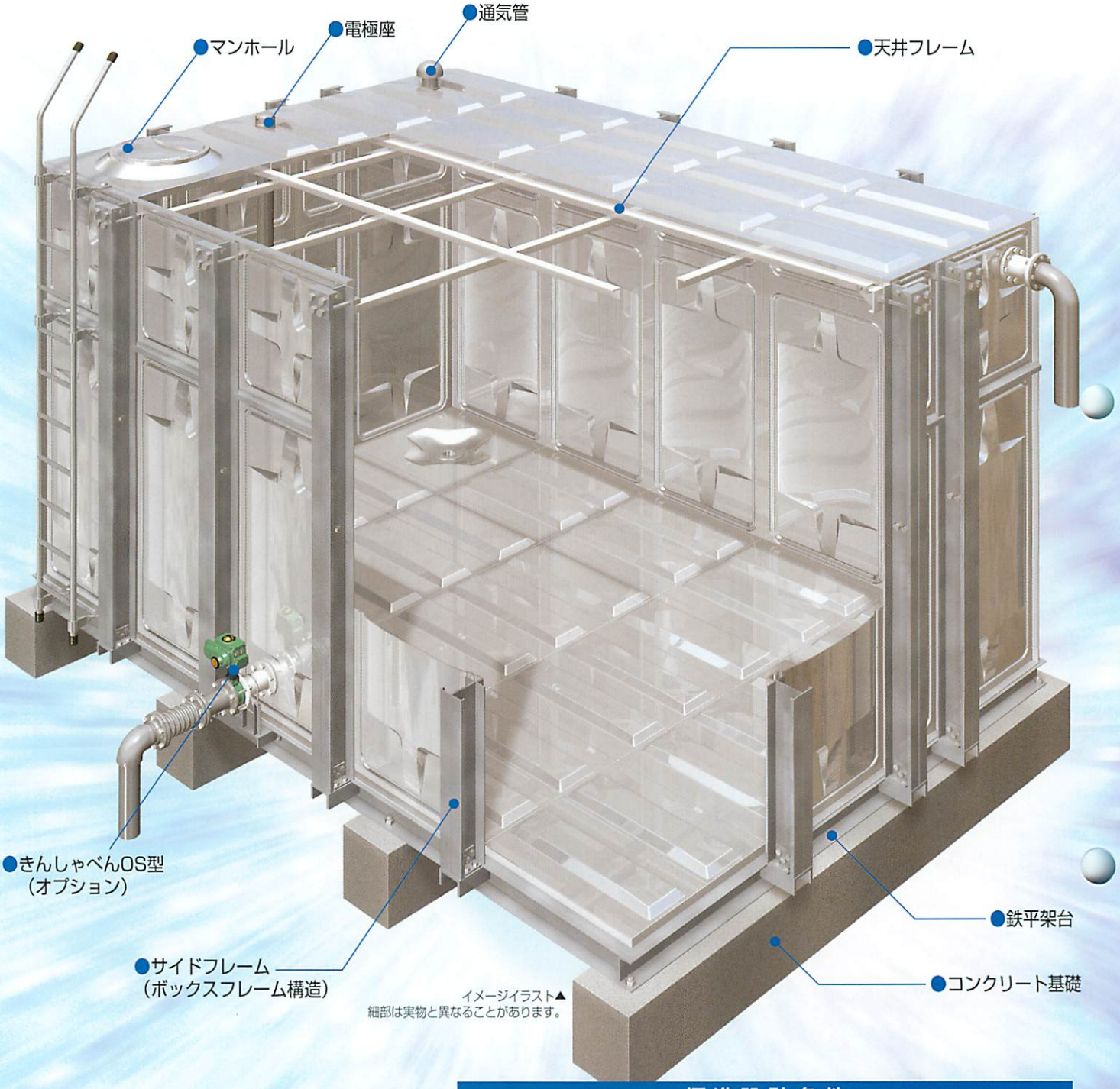
SEKISUI

ボルト組立式

セキスイ ステンレスパネルタンク

給水・貯水用　貯湯用

安全性・施工性・環境に配慮した設計。
水槽に求められた機能を全てクリアーしています。



イメージイラスト▲
細部は実物と異なることがあります。

〈目 次〉

構造・特徴 …… 1
パネル材質・保温構造 …… 3
オリジナル製品・オプション設計 …… 4
標準部品 …… 5
オプション部品 …… 6
標準取出口位置 …… 7
パネル一覧・構成 …… 8
給湯仕様ステンレスパネルタンク …… 9
給湯仕様部品 …… 11
架台・基礎 …… 12
取扱注意事項 …… 13

標準設計条件

項 目	設計仕様
常用水圧	水槽の高さ　常用最大静水圧 1.0m…… 7.84kPa 1.5m…… 12.70kPa 2.0m…… 17.60kPa 2.5m…… 22.50kPa 3.0m…… 27.40kPa 3.5m…… 32.30kPa 4.0m…… 37.20kPa 4.5m…… 42.14kPa 5.0m…… 47.04kPa

項 目	設計仕様
地 震	設計用水平震度＝ 1.0G・1.5G・2.0G
	鉛直震度＝水平震度×1/2
	設計用水平速度＝ 1.5・2.25・3.75m/s
風 圧	風速60m/s
積 雪	588Pa (積雪深さ30cm)
水 温	常温 (30℃以下)
水質(PH)	5.8~8.6
照度率	0.1 %以下

施工性に優れたボルト組立形

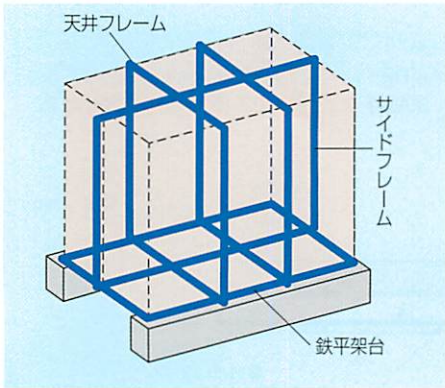
現場でパネルをボルトで組立る施工方式ですから、狭所・高所などへの搬入・据付が容易で、納期がお約束できます。また、場所や大きさに関係なく取替え・増設が容易です。

溶接・火気使用のない安全施工

現場で溶接などの火気が一切不要。また、溶接部の酸洗いとその洗浄廃液の処理が不要なので環境汚染への影響がなく、高い安全性が確保できます。

地震に強いボックスフレーム構造

耐震構造は独自のボックスフレーム構造（外補強構造）です。その優れた耐震強度は阪神大震災でも実証済みで、スロッシング（液面揺動）対策を考慮した高い剛性を持ち、災害時に貴重な飲料水を確保します。



内部の清掃・保守点検が容易

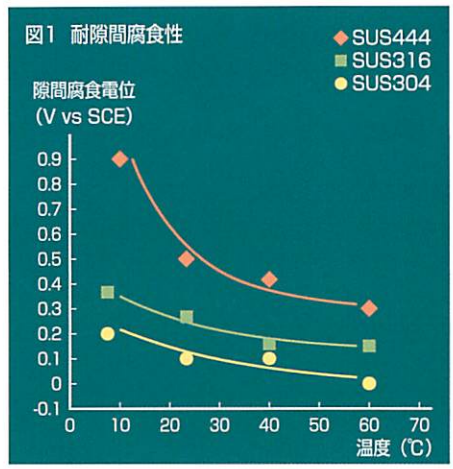
完成されたタンク内部には、障害となる補強材がありません。内部を自由に歩けるので作業性がよく、清掃・保守点検が容易かつ安全に行えます。

リサイクル分別容易

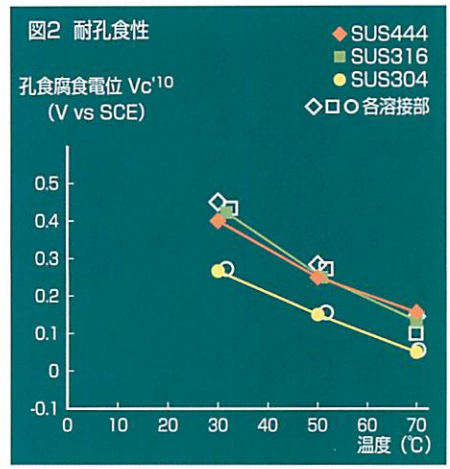
セキスイは、資源の有効活用という社会的要請に応え、リサイクル分別が容易にできるようパネルに化学成分を表示しています。

優れた耐食性

一般に金属の耐食性は、水溶液中でイオンになりやすいかどうか（イオン化傾向）により判断され、このイオン化傾向は「標準電極電位」という尺度で示されます。
つまり、溶け出しやすい金属（標準電極電位の低い金属）は耐食性が低く、溶け出しにくい金属（標準電極電位の高い金属）は耐食性が高いことになります。
図1・図2は、それぞれステンレスの代表的腐食形態を示したものです。これらの図は、SUS444が他の材質に比べ、優れた材料であることを示しています。



●0.01mol NaCl水溶液中における
隙間腐食電位と温度の関係（0.01mol≒0.6重量%）



●3.5%l NaCl水溶液中における孔食電位と温度の関係

ISO 9001/14001認証取得

業界初の「国際品質保証規格 ISO9002」を取得。継続してISO 9001も取得しました。
また、自主的で継続的な環境マネージメントシステムが認められ「国際規格 ISO14001」の認証も取得しています。

▲ISO 9001

▲ISO 14001

形式表示

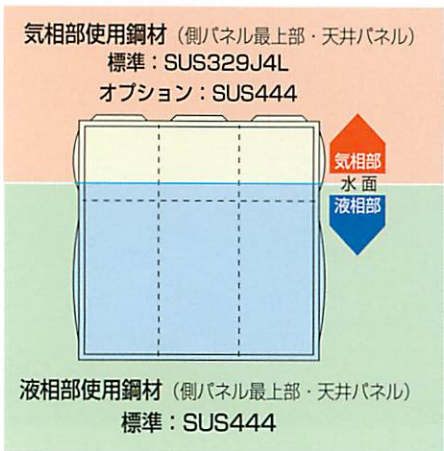
PS AH - 50 - 15 N
❶ ❷ ❸ ❹ ❺

番号	記号	内　容	番号	記号	内　容
❶	PS	ステンレスパネルタンク	❹	10	設計用水平震度 10：1.0G
❷	AH	単板形 気相部：SUS329J4L		15	15：1.5G
	AL	単板形 気相部：SUS444（オプション）		20	20：2.0G
	BH	保温形 気相部：SUS329J4L	❺	N	設計仕様 N：中仕切付き
	BL	保温形 気相部：SUS444（オプション）		P	P：ポンプ室付き
❸	数値	呼称容量：m^3		L	L：異形設計

パネル材質・保温構造

パネルの使用材質構成

パネル材質の使用構成は、気相部にはステンレス鋼材のSUS329J4Lを、また液相部にはSUS444の使用が標準構成です。
オプションとして、残留塩素が少なく過酷な条件でない場合には、液相部・気相部ともにSUS444で対応できます。
ご採用時に、別途ご相談ください。

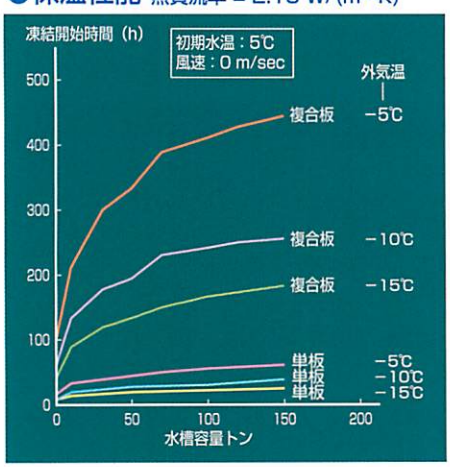


⚠ 満水時の水位は、必ずSUS329J4L使用部位内に設定してください。
それより水位を下げて貯水すると、SUS329J4L以外の部位で腐食発生の原因となります。

保温型

断熱性が要求される湿度の高い室内・極寒冷地や空調用途で保温が必要な場合には保温型を用意しています。
構造は、単板構造のステンレスパネルと保温カバーの間に保温材（発泡ポリスチレン）を入れたもので、保温層の厚みは25mmです。
ほとんどの地域の結露条件をクリアします。

●保温性能 熱貫流率 = 2.13 W/(m²-K)



このデータは JIS A 1414-1994「建築用構成材（パネル）及びその構造部分の性能試験方法」の6.6熱貫流試験に準じたもので、初期水温と外気温による水槽容量別の凍結開始時間を表わしています。
ただし、水槽形状により異なる場合があります。

使用鋼材の特性

●SUS444 フェライト系ステンレス鋼

使用部位：側パネル、底パネル（オプションとして天井パネルにも使用）
特　　長：耐隙間腐食性、耐孔食性に優れているフェライト鋼は、応力腐食割れにも強い材質です。

SUS444の化学成分（JIS G 4304）　単位：(%)

C	Si	Mn	P	S	Cr	Mo	N	その他
0.025 以下	1.00 以下	1.00 以下	0.04 以下	0.03 以下	17.00–20.00	1.75–2.50	0.025 max.	Ti・Nb・Zr または、それらの組み合わせ 8×（C%+N%）～0.80

SUS444の機械的特性（JIS G 4304）

耐　力 N/mm²	引張強さ N/mm²	伸　び %	硬　さ		
			HB	HRB	HV
245以上	410以上	20以上	217以下	96以下	230以下

●SUS329J4L オーステナイト、フェライト二相系ステンレス鋼

使用部位：天井パネル、側パネル（気相部のみ）
特　　長：オーステナイトとフェライトの2つの組織を持ち、耐隙間腐食性・耐孔食性に優れた「スーパーステンレス」といわれるほど耐食性が高い材質です。

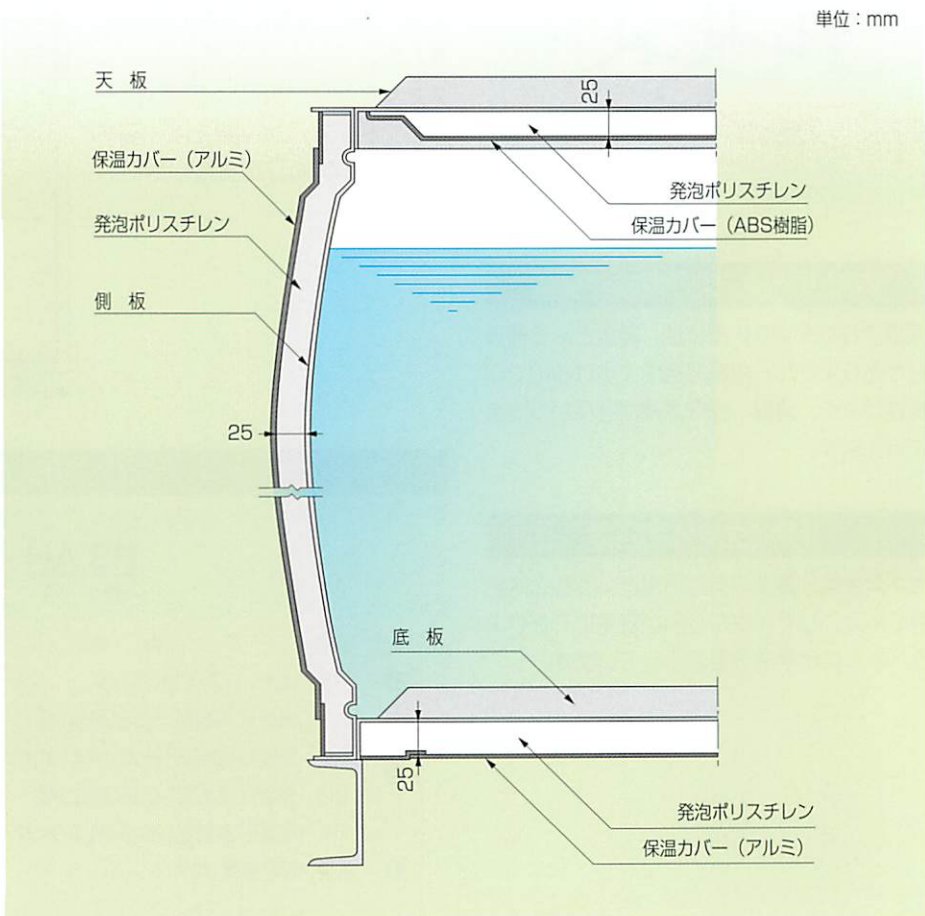
SUS329J4Lの化学成分（JIS G 4304）　単位：(%)

C	Si	Mn	P	S	Ni	Cr	Mo	N
0.03 以下	1.00 以下	1.50 以下	0.04 以下	0.03 以下	5.50～7.50	24.00～26.00	2.50～3.50	0.08～0.30

SUS329J4Lの機械的特性（JIS G 4304）

耐　力 N/mm²	引張強さ N/mm²	伸　び %	硬　さ		
			HB	HRB	HV
450以上	620以上	18以上	302以下	32以下	320以下

単位：mm



オリジナル製品

水位センサーユニット

水位の変化をデジタル的に管理できます。
誤作動が少なく、必要貯水量を任意に、しかも容易に変更でき、遠方操作も可能です。
平日と休日で水の使用量の格差が大きい大規模商業ビルや遊戯施設などの水位制御システムに最適です。
詳しくは、お問い合わせください。

れんつうバルブ

2槽式水槽に必要な連通管を水槽内部に装備できる、省スペース設計です。
口径が150Aあり、水槽組立時に取付けることができます。外付けの連通管と比べ、ラッキング・サポート・防振継手などの部材や配管工事が不要となり、お客様のトータルコストの低減がはかれます。

ポンプ室付き受水槽

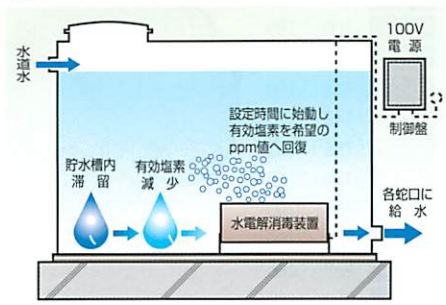
ポンプ室付き受水槽を、パネルを組み合わせて一体化できます。

ポンプ室はステンレスパネルとFRP製パネルタイプがあり、所轄自治体の設計指針に準じて選択できます。

水電解消毒装置

自然の水・地下水・水道水などには、必ず塩素イオンが含まれています。この水中の塩素イオンを電気分解によって変化させて有効塩素を作り出す装置です。
1日数時間の通電で、水槽内の有効塩素濃度を水道法に定められた0.1ppm以上に保つことができ、衛生性を確保します。
詳しくは、お問い合わせください。

貯水槽と水電解消毒装置のしくみ



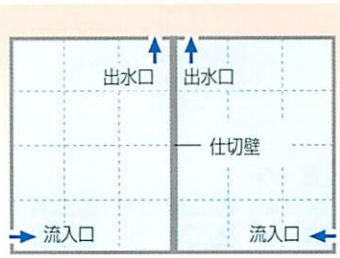
サイレントチューブ

水槽への注水時に発生する流入水音を低減し液面の波立ちを防止します。
環境基準で定められている常に静穏が要求される地域、特に病院・療養所などの施設や集合住宅に不可欠な設備です。

オプション設計

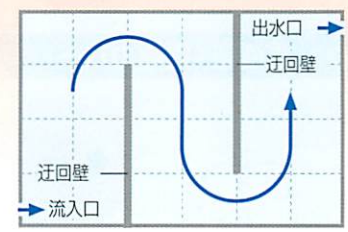
設計自由な仕切壁

パネルモジュール寸法を基準として仕切壁を自由に設計することができます。
ただし、設計できない形状もありますのでご相談ください。



停滞水を防ぐ迂回壁

大容量の水槽で停滞水が生じないように迂回壁を設けることができます。
迂回壁の寸法設計は、パネルモジュール寸法を基本として、自由に設計できます。



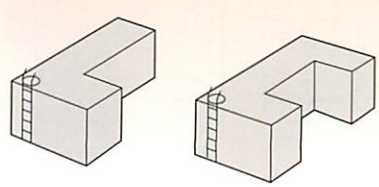
多雪型

多雪地域の屋外に設置する場合は、必ず多雪型とご指定ください。ただし、積雪が2mを超える場合は、水槽を屋内に設置するか防雪小屋で水槽を囲んでください。

異形設計

設置空間を可能な限り利用できる、パネルモジュールに合わせた異形設計の水槽が設置できます。
耐震仕様・形状により設計できない場合もありますので、お問い合わせください。

設計例

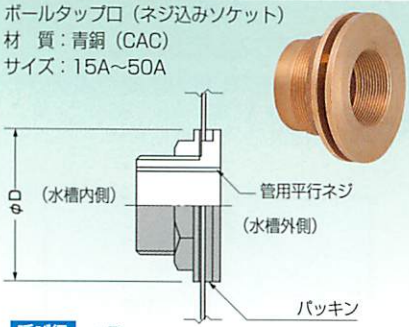


標準部品

(単位：mm)

ボールタップ用取出口

ボールタップ口（ネジ込みソケット）
材　質：青銅（CAC）
サイズ：15A～50A



呼び径	φD				
15A	48	25A	63	40A	83
20A	55	32A	75	50A	96

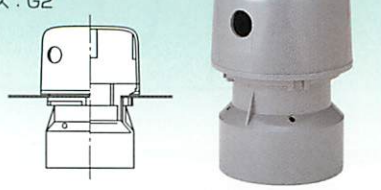
組立ボルト

材　質：SUS304＋樹脂被覆
サイズ：M10・M12

材　質：SUS304
サイズ：M10・M12

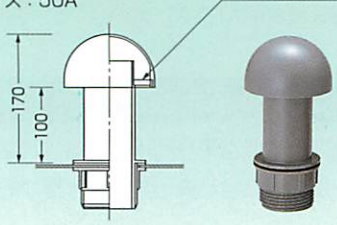
電極座・電極カバー

材　質：PVC
サイズ：G2

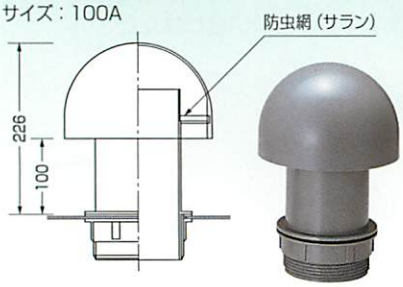


通気口

材　質：ABS樹脂
サイズ：50A

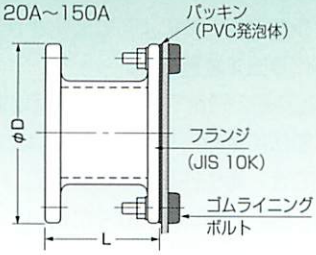


材　質：ABS樹脂
サイズ：100A



配管取出口（フランジ式）

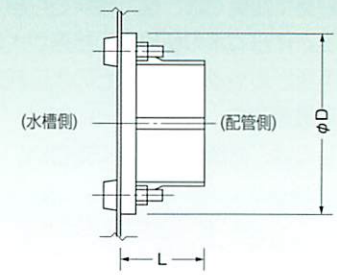
入水口、出水口、排水口
材　質：FC＋ナイロン
サイズ：20A～150A



呼び径	φD	L
20A	100	150
25A	125	150
32A	135	150
40A	140	150
50A	155	150
65A	175	150
80A	185	180
100A	210	180
125A	250	180
150A	280	180

オーバーフロー用取出口（TSフランジ式）

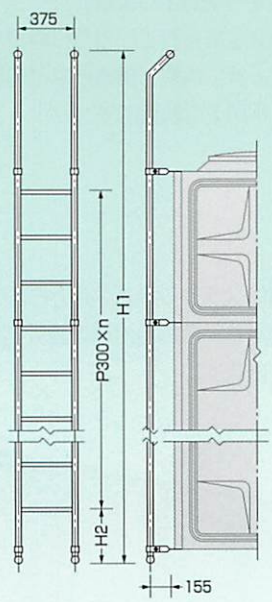
オーバーフロー口
材　質：PVC
サイズ：50A～150A



呼び径	φD	L
50A	130	72
65A	155	76
80A	180	80
100A	200	105
125A	235	126
150A	265	150

外はしご

材　質：SS＋溶融亜鉛メッキ

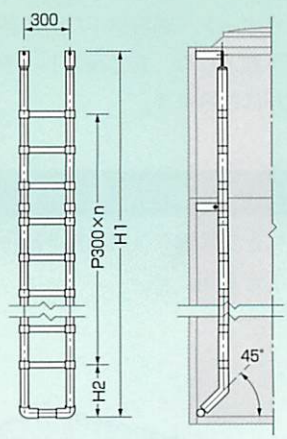


タンク高さ	H1	H2	n
1.0mH	1640	313	2
1.5mH	2340	213	4
2.0mH	2840	113	6
2.5mH	3340	313	7
3.0mH	3840	213	9
3.5mH	4340	113	11
4.0mH	4840	313	12
4.5mH	5340	213	14
5.0mH	5840	113	16

注意：タンク高さ1mはオプションです。
　　材質SUSはオプションです。

内はしご

材　質：PVC



タンク高さ	H1	H2	n
1.0mH	1099	345	1
1.5mH	1620	345	3
2.0mH	2102	345	5
2.5mH	2605	345	6
3.0mH	3105	345	8
3.5mH	3608	345	10
4.0mH	4108	345	11
4.5mH	4611	345	13
5.0mH	5111	345	15

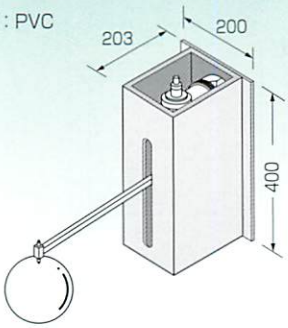
注意：タンク高さ1mはオプションです。

オプション部品

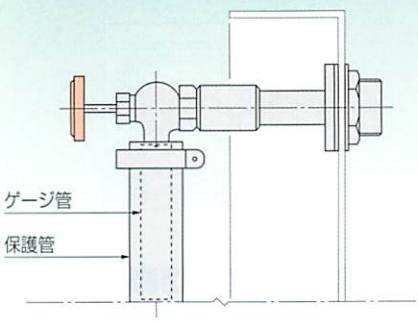
(単位：mm)

ボールタップ用防波ボックス

材質：PVC

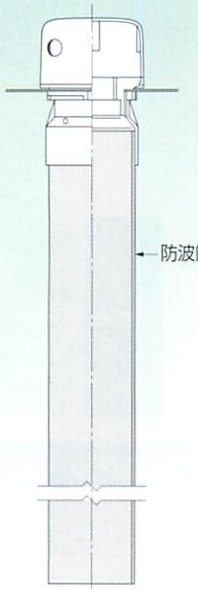


水位計



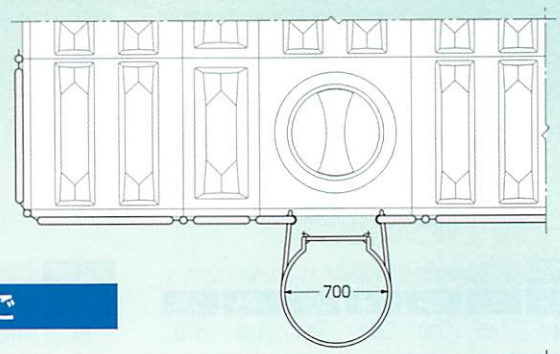
防波筒

材質：PVC
（グレー色・透明）



天井部手摺り

材質：SS＋溶融亜鉛メッキ

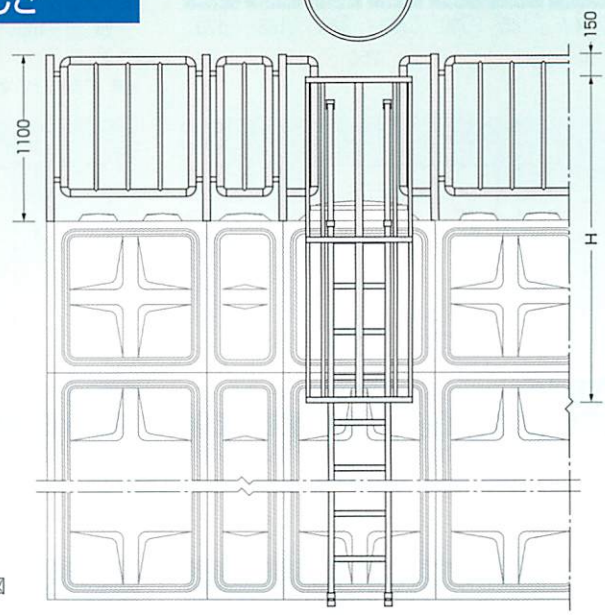


平面図

ガード付き外はしご

材質：SS＋溶融亜鉛メッキ

タンク高さ	H
2.0mH	1650
2.5mH	2150
3.0mH	2650
3.5mH	3150
4.0mH	3650
4.5mH	4150
5.0mH	4650



側面図

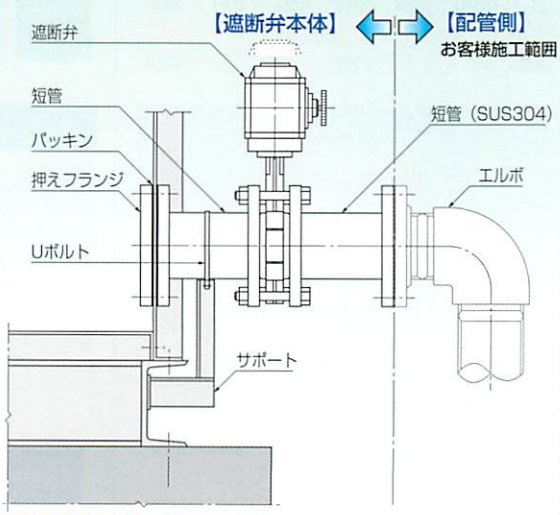
きんしゃべん OS型

外付け型緊急遮断弁で、地震を感知し自動的に出水口を遮断します。
水槽以降の給水系統が万一損傷を受けても、水槽内の水を安全確実に守ります。
行政では建築設備・耐震基準の見直しと、耐震診断基準及び改修指針において、受水槽・高置水槽に緊急遮断弁を設置するよう指導しています。

■標準機種

機種	口径（A）	制御盤
URS-50	50	UCS バックアップ電源装置含む
URS-65	65	
URS-80	80	
URS-100	100	
URS-125	125	
URS-150	150	

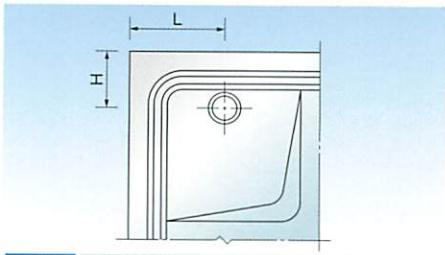
オプション：200A



標準取出口位置

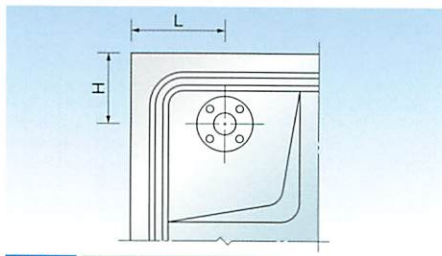
(単位：mm)

入水口（上部）



部品名称　ネジ込みソケット(CAC)　パネル幅：1.0 m

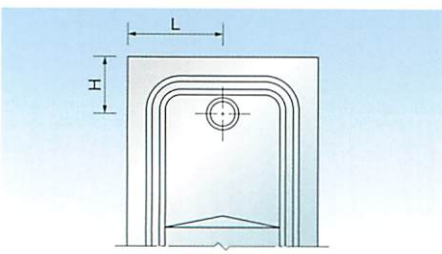
サイズ	15A	20A	25A	32A	40A	50A
H	145	150	155	160	165	170
L	250					



部品名称　フランジ(FC+N) 10K　パネル幅：1.0 m

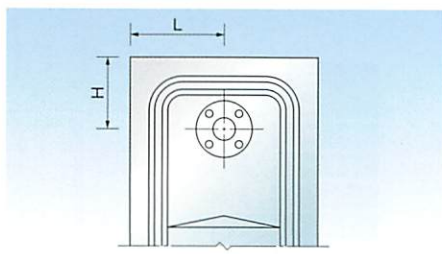
サイズ	20A	25A	32A	40A	50A
H	165	175	180	185	190
L	250				

注意：65A以上の場合は別途設計となります。



部品名称　ネジ込みソケット(CAC)　パネル幅：0.5 m

サイズ	15A	20A	25A	32A	40A	50A
H	145	150	155	160	165	170
L	250					

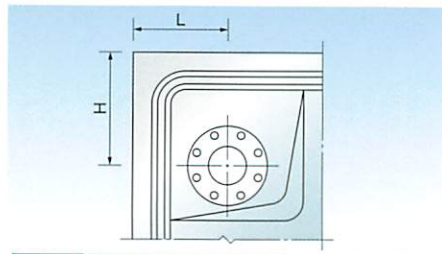


部品名称　フランジ(FC+N) 10K　パネル幅：0.5 m

サイズ	20A	25A	32A	40A	50A
H	165	175	180	185	190
L	250				

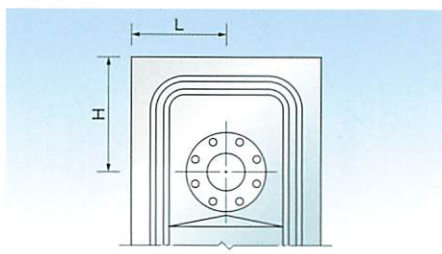
注意：65A以上の場合は別途設計となります。

オーバーフロー（上部）



部品名称　フランジ(PVC) 5K　パネル幅：1.0 m

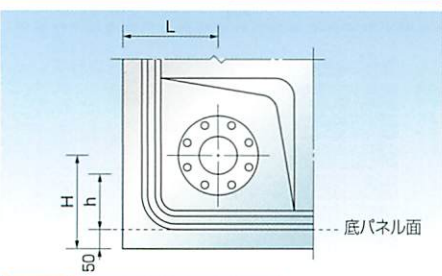
サイズ	50A	65A	80A	100A	125A	150A
H	345	335	320	310	295	280
L	250					



部品名称　フランジ(PVC) 5K　パネル幅：0.5 m

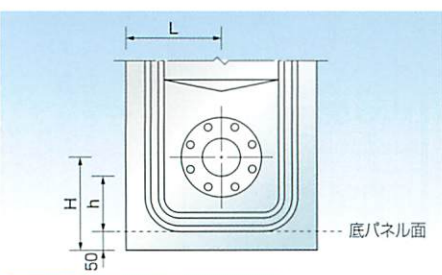
サイズ	50A	65A	80A	100A	125A	150A
H	345	335	320	310	295	280
L	250					

出水口（下部）



部品名称　フランジ(FC+N) 10K　パネル幅：1.0 m

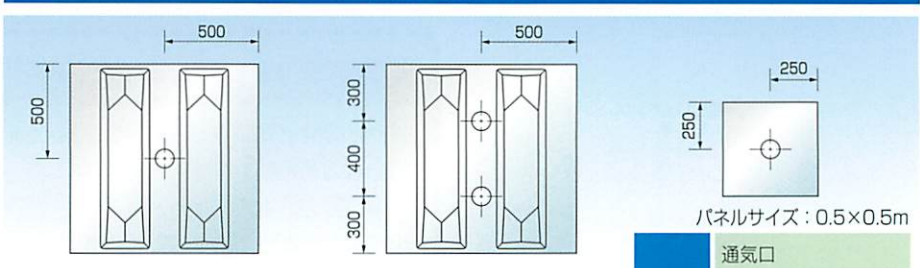
サイズ	50A	65A	80A	100A	125A	150A
H	230	238	245	257	270	275
L	250					
h(管底)	150					142.4



部品名称　フランジ(FC+N) 10K　パネル幅：0.5 m

サイズ	50A	65A	80A	100A	125A	150A
H	230	238	245	257	270	275
L	250					
h(管底)	150					142.4

天井・底パネル



パネルサイズ：1.0×1.0m

部品名称
- フランジ(FC+N) 20A～50A
- ネジ込みソケット(CAC) 15A～50A

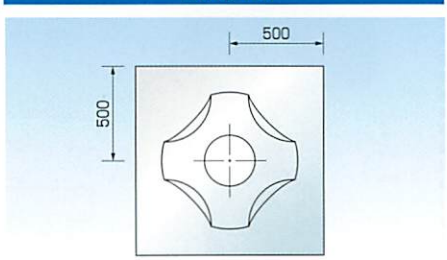
パネルサイズ：1.0×1.0m

部品名称
- 通気口（50A・100A）
- 電極取付用座

パネルサイズ：0.5×0.5m

部品名称
- 通気口
- 電極取付用座
- フランジ(FC+N) 20A～150A
- ネジ込みソケット(CAC) 15A～50A

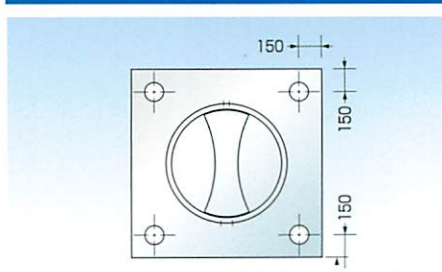
排水口



パネルサイズ：1.0×1.0m

部品名称
- フランジ(FC+N) 20A～125A
- ネジ込みソケット(CAC) 15A～50A

マンホールパネル



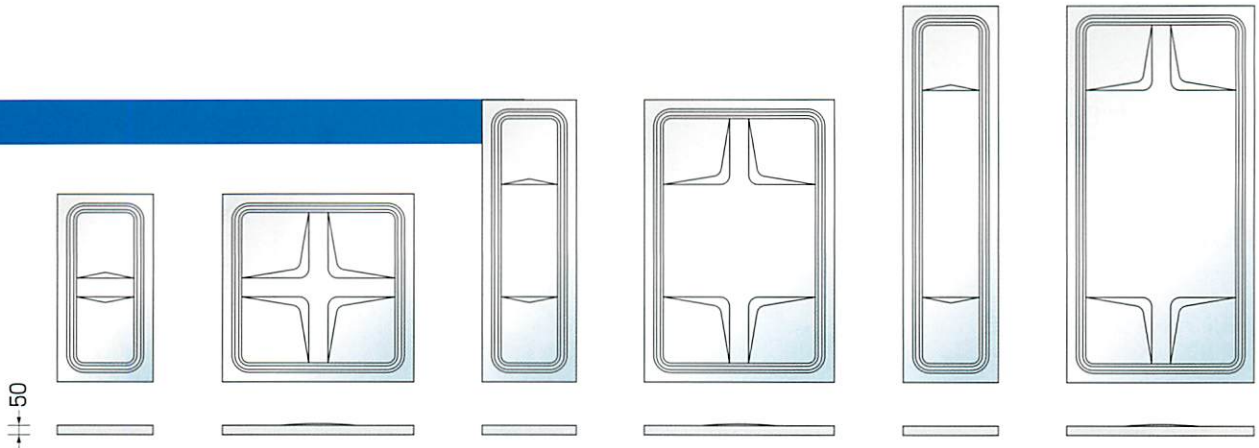
パネルサイズ：1.0×1.0m

部品名称
- 通気口
- 電極取付用座
- ネジ込みソケット(CAC) 15A～50A

パネル一覧

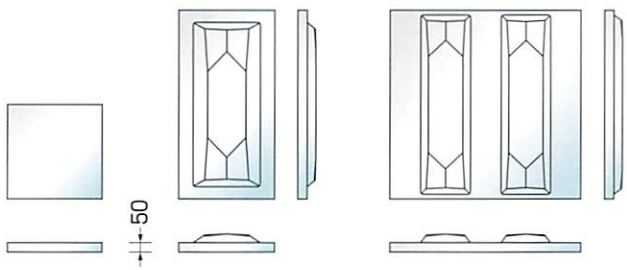
(単位：mm)

側パネル



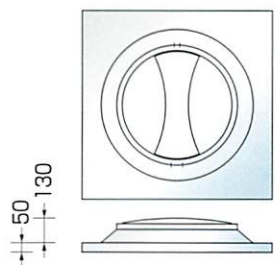
●1000×500　●1000×1000　●1500×500　●1500×1000　●2000×500　●2000×1000

天井・底パネル



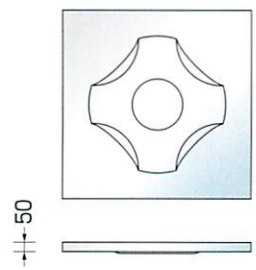
●500×500　●1000×500　●1000×1000

マンホールパネル



●1000×1000
●φ600

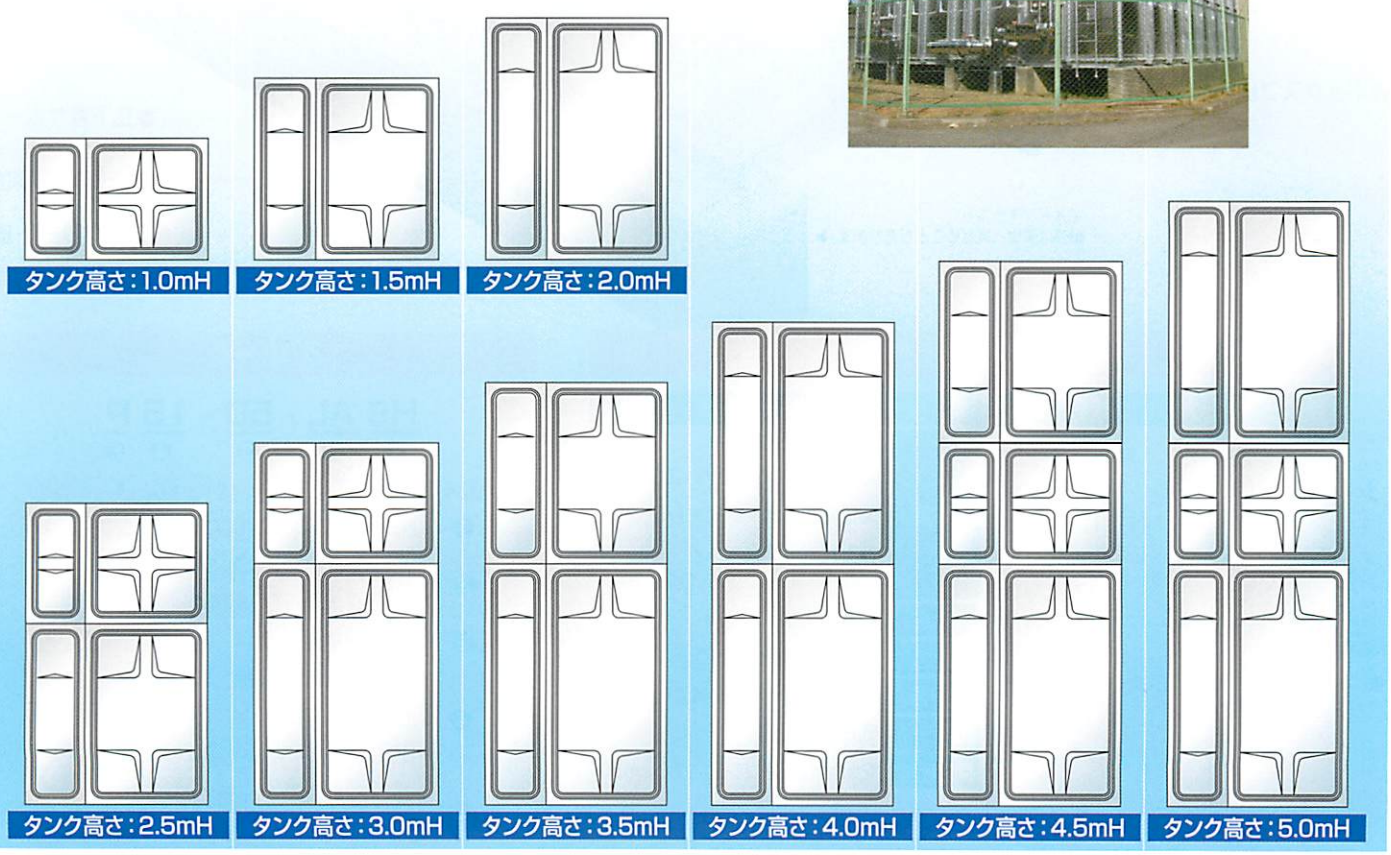
ピットパネル



●1000×1000

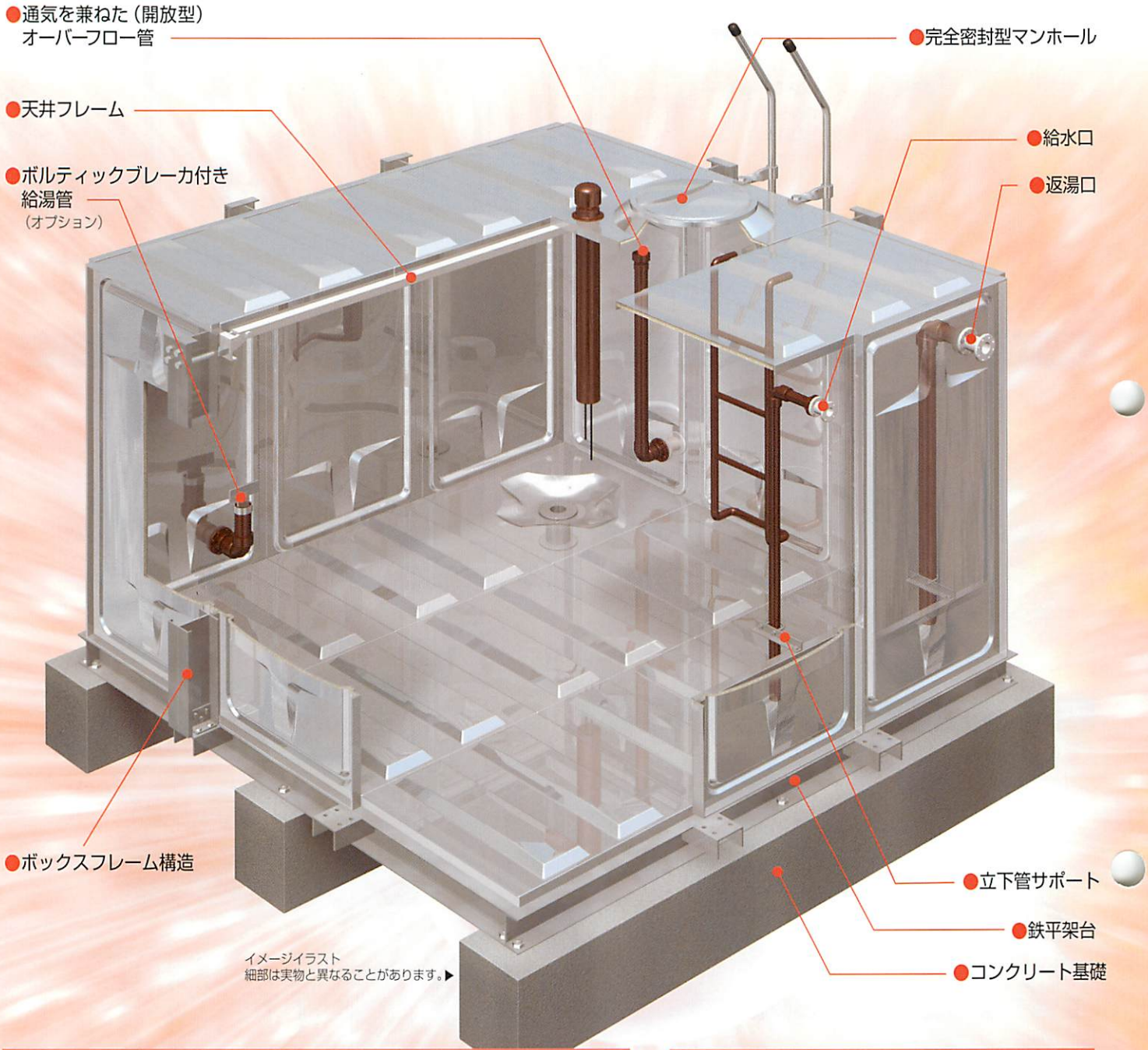
側パネル構成

● 耐震：1.0G・1.5G・2.0G



給湯用ステンレスパネルタンク

優れた耐食性・品質・機能が給湯システムを守ります。



イメージイラスト
細部は実物と異なることがあります。▶

標準設計条件

項　目	設計仕様	
常用水圧	貯湯槽高さ	常用最大静水圧
	1.0m……	7.84kPa
	1.5m……	12.70kPa
	2.0m……	17.60kPa
	2.5m……	22.50kPa
	3.0m……	27.40kPa

●3.5～5.0m高さについては
お問い合わせください。

項　目	設計仕様
地　震	設計用水平震度＝1.0G・1.5G・2.0G
	鉛直震度＝水平震度×1/2
	設計用水平速度＝1.5・2.25・3.75m/s
風　圧	風速60m/s
積　雪	588Pa（積雪深さ30cm）
湯　温	80℃（常時使用最高温度）
水質(PH)	5.8～8.6
保温仕様	25mm厚（オプション：50mm厚）

型式表示

HS AL - 50 - 15 P
❶ ❷ ❸ ❹ ❺

番号	記号	内　容
❶	HS	給湯用ステンレスパネルタンク
❷	AL	単板形　：SUS444
	BL	保温形　：SUS444
❸	数値	呼称容量：m^3
❹	10	設計用水平震度　10：1.0G
	15	15：1.5G
	20	20：2.0G
❺	P	設計仕様　P：ポンプ室付き
	L	L：異形設計

独自の開放型構造

- 開放型（特許）のボルト組立形貯湯槽。
- 通気を兼ねたオーバーフロー管を装備。
- 給湯設備の機器・配管系の腐食を防止。
- 本体は耐食性に優れたSUS444製。
- 保温層幅25mmの連続断熱保温構造。
  （オプション保温層幅：50mm）

優れた耐すき間腐食性を確認

ステンレスパネルタンクの貯湯温度80℃における耐すき間腐食性を評価するために、各種電気化学実験を実施しました。
実際の貯湯槽内で発生している自然電位変化を忠実に再現し、優れた耐食性を実証しました。

ステンレスパネル片と樹脂パッキンを用いた試験体による定電位試験結果から、ステンレスパネルタンクの貯湯槽は、80℃・100ppm以下のCl濃度の上水中では、**すき間腐食は発生しないと推定されます。**

●詳しくはお問い合わせください。資料を用意しております。

ボルティックブレーカ付き給湯管

完全脱気した温水を立ち上げ管から効率よく取り入れるとともに、渦流防止のためオプションでボルティックブレーカを装備することができます。
加温が必要な場合は、給湯口を加熱器に近い槽壁の下部に取付け、返湯口・補給水口は加熱器をはさんで対角の槽壁上部に取り付ければ、効率よく加熱できます。

オプション装備▶

省エネのシステム設計が可能

安価な深夜電力を利用した電気ヒータや、空調余熱を有効利用した熱交換器など、システムに応じた加熱器・熱交換器を槽内に装備することで、熱エネルギーを有効利用するシステム設計ができます。

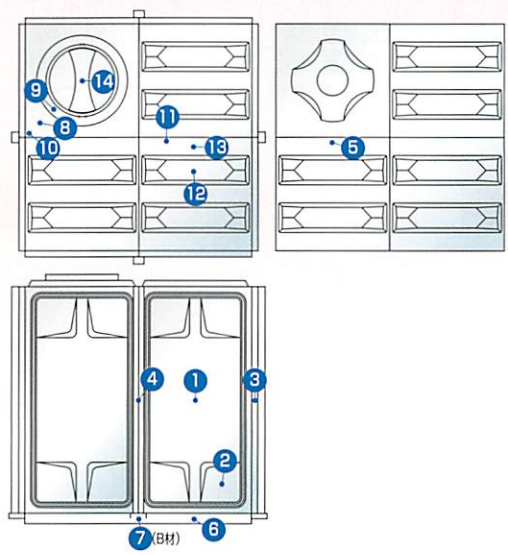
■ 装備できる加熱器・熱交換器

熱媒	形式
蒸気	浸漬Uチューブ形
温水	プレート形・蛇管形・浸漬Uチューブ形・トロンボーン形
電気	電気ヒータ

断熱保温構造

■外装パネル表面温度測定結果

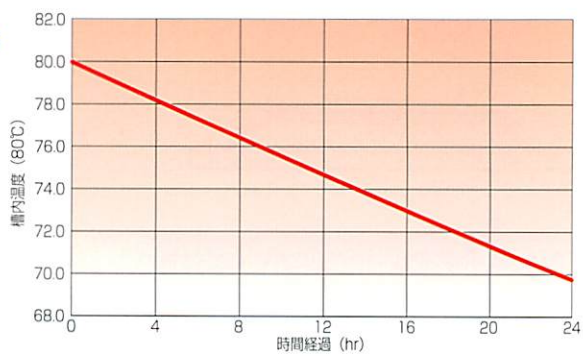
試験条件：屋外設置（2m×2m×2mh）　水　位：1800mm
水　温：80℃（流動旋回ポンプ使用）　水　温：80.8℃（0mm）
外気温度：36.5℃　：80.6℃（1000mm）
湿　度：53.0%　：80.5℃（1800mm）



測定位置		測定点	温度（℃）	備考
側壁		①	40.4	
		②	39.8	
		③	43.2	
外補強		④	49.2	
底面		⑤	48.3	
架台		⑥	43.0	
		⑦	40.1	
天井	マンホール	⑧	55.3	太陽光直射
		⑨	52.9	太陽光直射
		⑩	56.2	太陽光直射
	天板	⑪	53.0	太陽光直射
		⑫	53.0	太陽光直射
		⑬	55.5	太陽光直射
マンホール蓋		⑭	39.0	太陽光直射

■24時間経過後の槽内温度変化

試験条件：25mm保温タイプ（2m×3m×3mh）
水　温：80℃
外気温度：0℃



●詳しくはお問い合わせください。資料を用意しております。

給湯システム設計に際しての注意事項

開放型給湯方式のメリットを最大限活かすには、給湯用ステンレスパネルタンクを建物屋上に設置し、重力給湯方式を採用していただくのが最良の方法です。この方法で無駄なエネルギーを使うことなく、しかも安定した給湯量を確保することができます。

①貯湯温度が80℃を超えないよう設定してください。

②貯湯容量並びに必要加熱量の設定は、従来の密閉型貯湯槽を用いた方式と同様の計算で求めることができます。詳しくは「空気　調和衛生工学便覧」又は「給排水・衛生設備の実務の知識」などを参照してください。

③水の補給は、連続してできるボールタップ給水が理想的です。
ポンプで補給する場合は、H.W.L.とL.W.L.の差をH.W.L.の10%程度とし、貯湯槽内の温度降下が急激にならないようにしてください。

④各種配管接続の位置関係は、槽内が所定温度の完全混合状態になるようにします。具体的には物件ごとに弊社で図面化いたしますのでご確認ください。

⑤槽の外部でオーバーフロー管とドレン管を接続する場合、オーバーフロー管を間接配管した後、接続してください。

⑥熱源の制御を行う温度計は、給湯口のすぐ上の湯温を感知できる位置に取付けることができるよう、温度計口位置を指示してください。

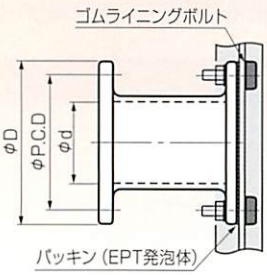
⑦中仕切りについてのご注意
貯湯槽の点検・清掃時の危険防止のため、中仕切り付きは対応しませんので、一槽式でご設計をお願いいたします。

給湯用 主要構成部品

(単位：mm)

配管取出口（フランジ式）

SS400+SGP製
サイズ：40～150A
配管接続ボルト
40～100A：M16
125～150A：M20

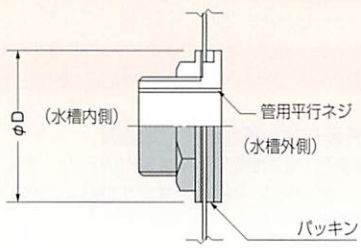


口径(A)	40	50	65	80	100	125	150
φD	140	155	175	185	210	250	280
φP.C.D	105	120	140	150	175	210	240
φd	42	53	68	81	106	131	156

●SUS製も用意しています。お問い合わせください。

ボールタップ用取出口

CAC製
サイズ：15A～50A



口径(A)	15	20	25	32	40	50
φD	48	55	63	75	83	96

●SUS製も用意しています。お問い合わせください。

電極座・電極カバー

材質：HT-PVC
サイズ：PF2

組立ボルト

外部材質：
SWCH+溶融亜鉛メッキ

気相部材質：
SWCH+電気亜鉛メッキ
+樹脂被覆

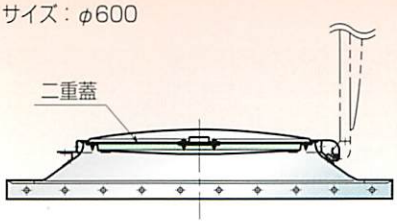
オプション：SUS304

パッキン

材質：シリコン

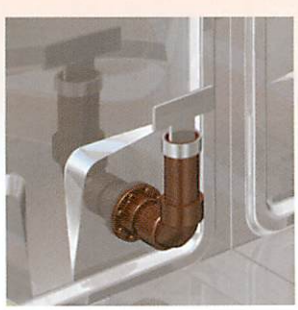
マンホール（二重蓋）

サイズ：φ600



ボルティックブレーカ（オプション）

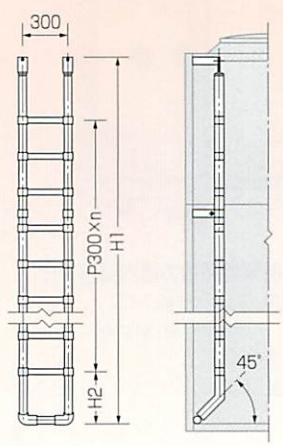
材質：HT-PVC



測温抵抗体（オプション）

内はしご

材質：HT-PVC

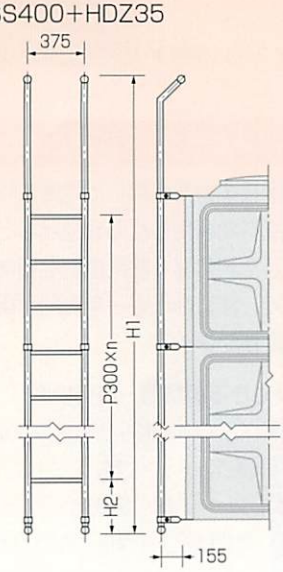


タンク高さ	H1	H2	n
1.0mH	1099	345	1
1.5mH	1620	345	3
2.0mH	2102	345	5
2.5mH	2605	345	6
3.0mH	3105	345	8
3.5mH	3608	345	10
4.0mH	4108	345	11
4.5mH	4611	345	13
5.0mH	5111	345	15

●タンク高さ1mはオプションです。

外はしご

材質：SS400+HDZ35



タンク高さ	H1	H2	n
1.0mH	1640	313	2
1.5mH	2340	213	4
2.0mH	2840	113	6
2.5mH	3340	313	7
3.0mH	3840	213	9
3.5mH	4340	113	11
4.0mH	4840	313	12
4.5mH	5340	213	14
5.0mH	5840	113	16

●タンク高さ1mはオプションです。
材質SUSはオプションです。

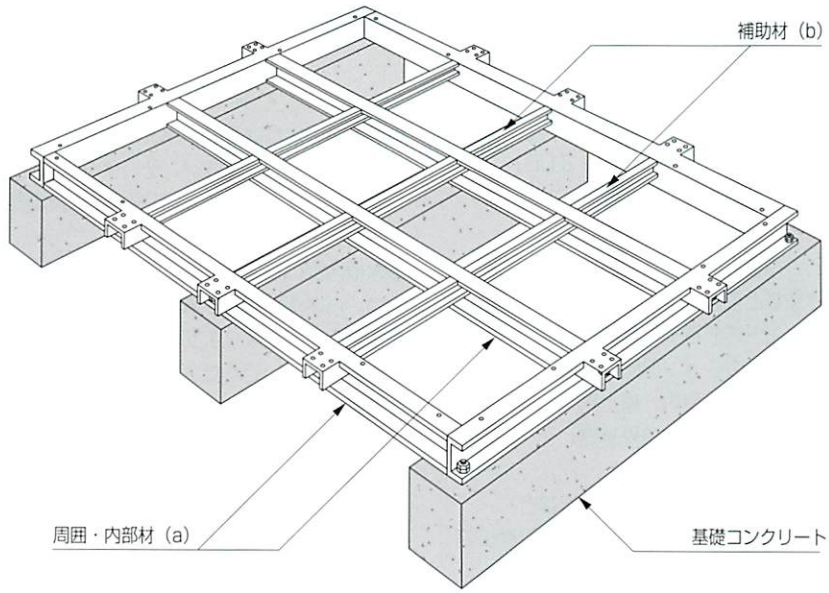
この他、給湯システム設計に対応して加熱器や熱交換器などを用意しています。
ご計画がございましたらお問い合わせください。

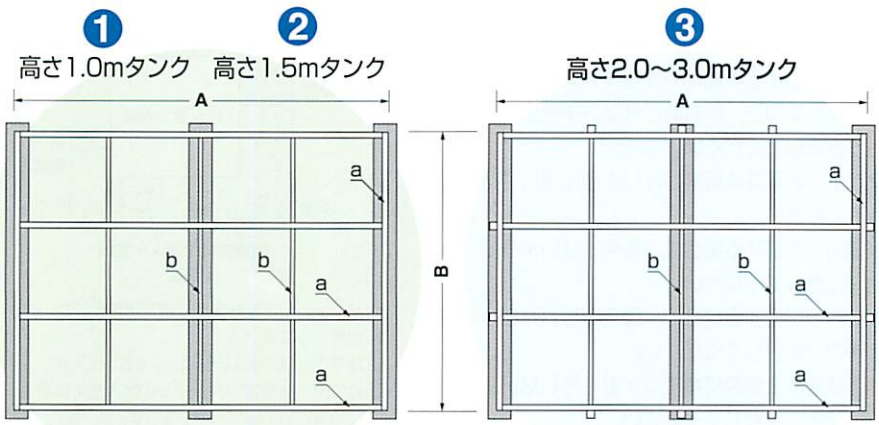
架台・基礎

平架台

水槽の耐震性能に合わせて設計しています。

- 「ボルト組立形」ステンレスパネルタンクの架台は井桁状が基本形です。
- 架台寸法はフルサイズパネルで1002mmピッチ、ハーフサイズパネルで502mmピッチが基本です。
- コンクリート基礎の幅は400mm、高さは500mm以上とし、基礎ピッチおよびアンカーについては当社図面にてご確認ください。
- 架台の外寸法は、表1の通りです。
- 架台の標準使用部材は、表2の通りです。





タンク取付図

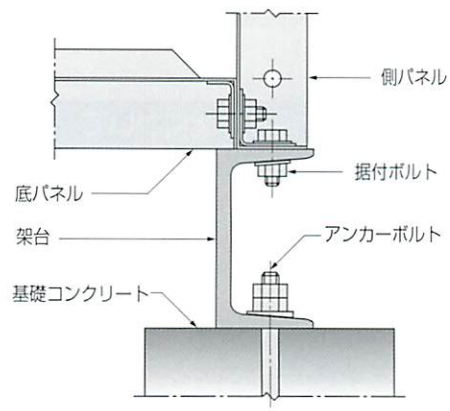


表1 平架台の外寸法（AまたはB）

（単位：mm）

水槽基本寸法	A または B		
	1	2	3
1000	1092	1112	
1500	1594	1614	
2000	2094	2114	
2500	2596	2616	
3000	3096	3116	
3500	3598	3618	
4000	4098	4118	
4500	4600	4620	
5000	5100	5120	
5500	5602	5622	
6000	6102	6122	
6500	6604	6624	
7000	7104	7124	
7500	7606	7626	
8000	8106	8126	

注意：高架台の場合は別途設計となります。

表2 架台部材表

（単位：mm）

	水槽高さ基本寸法	記号	使用鋼材 a	使用鋼材 b
水平震度 KH=1.0	1000	1	[−100×50×5	L−65×65×6
	1500	2	[−125×65×6	[−75×40×5
	2000	3		
	2500			
	3000		[−150×75×6.5	
水平震度 KH=1.5	1000	1	[−100×50×5	L−65×65×6
	1500	2	[−125×65×6	[−75×40×5
	2000	3		
	2500		[−150×75×6.5	
	3000			
水平震度 KH=2.0	1000	2	[−125×65×6	L−65×65×6
	1500			[−75×40×5
	2000	3		
	2500		[−150×75×6.5	
	3000		[−150×75×9	

取扱注意事項・維持管理・補修・保証

ご注文に際して

●下記項目について、必ずご連絡ください。
①タンク形式（単板・保温板・気相部材質）
②容量・寸法（幅・長さ・高さ）
③耐震グレード（1.0G・1.5G・2.0G）
④中仕切、ポンプ室の有無と位置
⑤積雪（標準・多雪）、風荷重
⑥取出口、電極、通気などの口径
　および個数と位置
⑦マンホール、内外梯子の個数と位置
⑧特殊仕様やオプション部品の有無
⑨設置場所（屋外、屋内、屋上）
⑩基礎形状（当社標準・特殊基礎）
⑪架台形状（平架台・高架台）
⑫納入先名・連絡先住所・電話番号など
●ご指定の仕様については、当社提出図面にてご確認ください。
●水槽の組立はセキスイが責任を持って行います。組立日時、設置場所周辺の状態などをご連絡ください。
●コンクリート基礎・アンカーボルト取り付け位置などは、当社図面を参照の上、施工してください。

タンク組立作業について

●架台の高さが高い場合や屋上の端など危険箇所での施工には、安全に作業できる足場や防護柵を設けてください。
●タンクの高さが2.5m以上の場合は、足場をご用意ください。
●電気（100V、1kW程度）と組立工事のスペースを確保してください。
●水槽の周囲は、600mm以上の空間を確保してください。
●現場の作業責任者が、気象条件などにより作業の中断・進行について、ご相談に伺う場合がありますのでご配慮ください。
●作業については、労働安全衛生法など関係法令を遵守した作業が進められるよう、ご配慮ください。
●建屋の絶壁近くや鉄塔架台では、足場・防護柵・安全ネットなどの設置をお願いいたします。
●作業者用の休憩場所の貸与をお願いいたします。

給水用　取扱注意事項

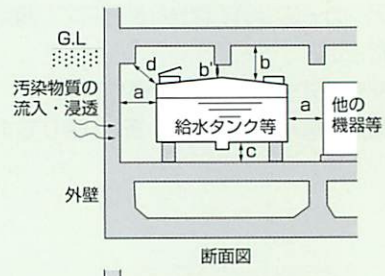
警告および注意

●満水時の水位は、必ずSUS329J4L使用部位内に設定してください。それより水位を下げて運転しますと、SUS329J4L以外の部位で腐食発生の原因となります。
●水槽内部の補強材を取りはずさないでください。パネルが破損し漏水の原因となります。
●漏水の原因となりますので、補強材に乗って作業をしないでください。
●漏水の原因となりますので、水槽のボルトは締めたり緩めたりしないでください。
●水槽に火気を近づけないでください。
●水槽の天井部で作業する場合は、転落しないよう安全に注意してください。
●天井部には過度な重量物を乗せたり、衝撃を与えないでください。パネルが破損し、濁水や小動物の侵入により、不衛生の原因となる恐れがあります。
●マンホールから小動物や異物が混入する恐れがありますので、作業時以外は必ず完全に閉めて施錠してください。
●タラップの昇降は転落しないよう注意して行ってください。
●水槽内で作業する場合は、転倒しないよう安全に注意してください。
●水槽内で作業する場合は、酸欠の恐れがありますので換気してください。
●本体補強の金属製材類で「ケガ」をしないように安全に注意してください。
●水槽の破損や小動物の侵入を防ぐため、通気口およびオーバーフロー管の防虫網の目詰まりや破損がないことを確認してください。
●片槽清掃時は安全のため、使用側水槽の水位を半分以下に下げてください。
●アンカーボルトの点検をしてください。
緩みや著しい腐食があると、地震時に水槽が転倒、移動することがあります。
●地震・台風などの異常事態が発生した時は、ただちに運転を停止し、本体・架台・配管系統・電気系統などを点検し、運転に支障がないか確認してください。確認後、異常がなければ運転を再開してください。
●点検後、不都合箇所があれば処置していただき、処置できないほどの異常であれば当社まで連絡をしてください。

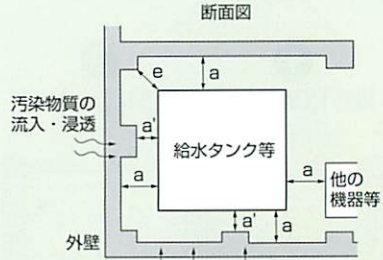
設計上の注意事項

六面点検空間確保

水槽外部の保守点検作業を容易に行なうため、水槽周囲に点検空間が必要です。具体的には、天井面で100cm・壁面、底面で60cm以上の空間を確保しなければなりません。
特に屋内の設置場所で、建築構造物に天井梁がある場合。また、壁面では水槽の外補強端部から、最低45cmの空間が必要となります。



断面図



汚染物質の流入・浸透
平面図

a、b、cのいずれも保守点検を容易に行ない得る距離とします。
（標準的には、a,c≧60cm、b≧100cm）
また、梁・柱等はマンホールの出入りに支障となる位置としてはならず、a'、b'、d、eは、保守点検に支障のない距離とします。
（標準的には、a', b', d, e≧45cm）

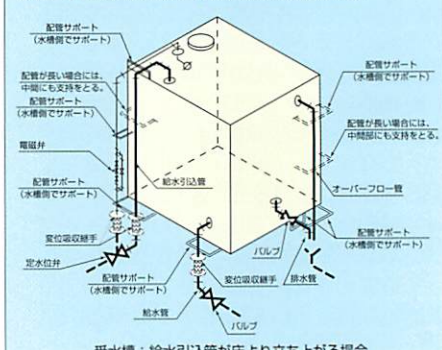
「給排水設備技術基準・同解説 2006年版」より

配管施工上の注意事項

FRP水槽耐震設計基準を遵守

地震災害時に水槽に貯水された大切な水を確保するため、FRP水槽耐震設計基準に沿った施工をしてください。

水槽廻り配管接続例（FRP水槽耐震設計基準より）



受水槽：給水引込管が床より立ち上がる場合

●詳しくはお問い合わせください。

維持管理・清掃について

水槽の維持管理（保守点検）・清掃作業については、水道法などで年１回以上の定期的な保守点検が義務づけられています。
水槽の維持管理を怠りますと、水質の悪化や安定供給する機能を損なう恐れがあるなど、いろいろなトラブルの原因となることがありますのでご注意ください。
水槽の維持管理作業は、当社「取扱説明書」などに沿って実施してください。
なお、保守点検・清掃作業は、専門的な知識・技術・用具などが必要となりますので、当社指定の維持管理会社か、専門業者様へご依頼ください。

補修について

水槽本体に異常がある場合、もしくは誤って破損された時は、次の点をご確認の上もよりの当社特約店か営業所までご連絡ください。
①タンクの設置場所と点検依頼のご連絡先
②タンクの設置年月日
③タンクの寸法（幅・長さ・高さ）
④タンクの設置状況（屋内・屋外・屋上・高架台上など）
⑤異常もしくは破損の内容
⑥補修作業可能な日時
⑦作業用電源および足場などの有無
なお、補修内容によっては補修費を実費でいただくことがありますのでご了承ください。

耐震診断と改修について

1995年（平成7年）12月25日から施行された「建築物の耐震改修促進に関する法律」により、既設建築物において耐震性の有無を確認する耐震診断を行い、基準に満たない建物については耐震改修の実施が必要となりました。
同様に水槽も耐震診断を行い、新耐震基準に適合しないものについては耐震改修が必要となります。
水槽の耐震診断はメーカーにて確認するよう指導されています。セキスイは「設備耐震診断士」をおき、適切なアドバイスと新耐震基準に適合した水槽の据付・施工までの支援サービス体制を整えています。
詳しくはお問い合わせください。

保証について

セキスイタンクは納入完了後2年間保証するものとし、保証期間中、当社の責に帰すると認められる欠陥により、貯水機能に異常が生じた場合に限り、無償で補修いたします。
ただし、当該保証期間といえども、次の各号の１に該当する場合はこの限りではありません。
①荷渡し後の施工中の取り扱いの不備に起因する場合
②架台・基礎の不良、および水槽との固定方法の不備に起因する場合
③適切な配管が行われないことに起因する場合
④常温の飲料水以外の用途に使用された場合
⑤異常な外力や圧力・高温、腐食性ガスなどの影響による場合
⑥運転、取り扱いの不備、ならびに適切な維持管理を怠った場合
⑦天変地異、不可抗力に起因する場合

有償維持管理について

当社では水槽の維持管理にともなう各種ニーズにお応えできるよう、メンテナンス体制を整えております。お客様のご要望により、新設・既設の水槽の維持管理契約をしていただくことができます。
契約後、毎年定期的に点検診断・清掃作業や不具合箇所の早期発見などを行い、「給水タンク定期点検診断報告書」「給水タンク清掃報告書」などにより、お客様へ適切にご報告いたします。

給湯用　取扱注意事項

警告および注意

- 貯湯温度80℃以上で使用しないでください。タンクの強度が低下し、危険です。
- マンホールを開ける時は、タンク内蒸気に十分注意してください。
  蒸気による火傷の恐れがあります。
- 危険ですからタンクの廻りには、関係者以外が近づけないような措置をしてください。
- 指定用途以外で使用しないでください。
  破損や漏水の原因となります。
- タンクの表面が高温になる部分がありますので素手で触らないでください。
  火傷の恐れがあります。
- マンホールの内蓋には乗らないでください。
  転落の恐れがあります。
- タンクには付属品以外のものを取り付けないでください。破損や漏水の原因となります。
- 満水位はオーバーフローより低い位置にしてください。漏水の原因となります。
- 排水用のドレンバルブを開ける時は、湯が身体にかからないように注意してください。
  お湯による火傷の恐れがあります。
- タンク内の湯を排水する時は、建物の排水設備を傷めないよう考慮し排水してください。
- 天井部で作業する時は、転落しないよう安全に注意してください。
- 天井部には60kg以上のものを乗せたり、衝撃を与えないでください。パネルが破損する恐れがあります。
- タンク内で作業する時は、転倒しないよう安全に注意してください。
- 排水直後には、タンクが熱を持っていますので、十分に冷ましてから入ってください。
  熱気により失神する恐れがあります。
- 内部の補強部材を外さないでください。
  パネルが破損し漏水の原因となります。
- タラップの昇降は転落しないように注意して行ってください。
- マンホールから小動物や異物が入るおそれがありますので、作業時以外は必ず完全に閉めて施錠してください。
- タンク内で作業する時は、必ず換気してください。酸欠の恐れがあります。
- 地震・台風などの異常事態が発生した時は、ただちに運転を停止し、本体・熱交換器・架台・配管系統・電気系統などを点検し、運転に支障がないか確認してください。確認後、異常がなければ運転を再開してください。
- 点検後、不都合箇所があれば処置していただき、処置できないほどの異常であれば当社まで連絡をしてください。

特約店

積水アクアシステム株式会社

給排水ソリューション事業部

お問い合わせは下記営業所または取扱代理店までお願いします。

東京営業所　〒104-0045 東京都中央区築地4-7-5（築地KYビル8F）
Tel.03(5565)6520・Fax.03(5565)6521

大阪営業所　〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30（梅田スカイビルタワーウエスト21F）
Tel.06(6440)2525・Fax.06(6440)2527

名古屋営業所　〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19（住友生命名古屋ビル12F）
Tel.052(582)7711・Fax.052(582)7714

仙台営業所　〒984-0031 仙台市若林区六丁目柳堀8-1
Tel.022(287)3913・Fax.022(287)3909

福岡営業所　〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8（福岡パールビル3F）
Tel.092(261)7250・Fax.092(281)1322

●ホームページアドレス　http://www.sekisuia.co.jp/kyusui/

●仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

FSC www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC™ C012538

110930⑦TA30